



Vol.3 ハウスめぐり編

(2017.04.21)

見頃だった桜は、すっかり散ってしまいましたが、育苗センターでは播種した苗箱から順調に出芽し、さらに生育させるために苗箱をトラックに載せてハウスまで運びます。運んだ苗を職員が手作業でハウスに並べ、田植えが出来る状態まで大切に育てられます。



↑ トラックから苗箱を運ぶ職員。



↑ ハウスに苗箱を並べる職員。

ハウスめぐり(苗箱ならべ)は、苗箱を1日に何千枚も手作業で並べるので、多くの人手が必要になります。全職員が当番制で出役し、対応します。力仕事ですが、女性職員も頑張って苗箱を運んでいます。苗箱を育苗センターからハウスまでトラックでピストン輸送し、運んだ苗箱を写真のようにハウス内に次々と降ろし並べます。この季節でも天気の良い日は、ハウス内は高温になります。吹き出る汗を拭きながらの作業で大変ですが、みんなで声をかけながら頑張っています。

苗箱を並べ終え、ハウス内のスプリンクラーでたっぷりと水やりをします。その後、苗箱に白いシート(健苗シート)を全面に敷きます。健苗シートは、太陽光を遮断することにより苗焼けを防ぎ、保温効果によって苗の成長を助ける効果があります。苗の生育のためには、健苗シートは欠かせないアイテムなのです！数日後、健苗シートをめくると写真のような緑化苗に成長し、さらにハウス内で育てます。



↑ 丁寧に健苗シートを敷く職員。



↑ 綺麗に敷かれた健苗シート。



↑ ハウスめぐり後、数日で成長した緑化苗。